

日本僑報

題字:人民日報前社長邵華澤先生

第84号 編集発行/日中交流研究所 編集長/段躍中
日本333-0866 川口市芝5-6-6 TEL048-432-7332 FAX432-7335
■http://duan.jp ■duan@duan.jp ■定価300円



王毅大使動態(2面)

理性的対話を深め、友好の再構築を

横浜華僑総会 鄭青榮

中国の諺に「水は舟を浮かべるが、舟を覆すこともできる(水可載舟、亦可覆舟)」というのがある。元来、柔軟で包容性に富み、親和力の強い「水」は、この格言の中では、億方の民衆を喩えている。その民衆が一旦、怒りを

爆発させると、舟を転覆させるほどの巨大なエネルギーを放出する、と私は解釈したい。その中

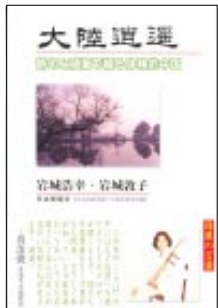


国民衆の間にいま大きな異変が起きている。つい「堪忍袋の緒」が切れてしまったのだ。日本国の最高政治指導者たる小泉

首相の度重なる、しかもいつ止むとも分からぬ靖国参拝や、一部右翼勢力による性懲りもない歴史教科書の改竄行為、更には、さきの侵略戦争を充分に反省、謝罪していないのに「日本は国連常任理事国資格充分

だ」などと自画自賛する言動に対して、中国民衆の義憤のエネルギーは予想を超える激しさで噴出した。いま、中国全土に波及した抗議行動及び日本における中国外交機関や関係団体への脅迫行為等によって、両国関係は国交回復以来の最悪の事態に陥っている。ところが、日本では、この連鎖デモを中国政府が民衆を焚きつけ、教唆誘導した結果

(二面へ続く)



『大陸逍遙』好評発売中

日中記者交換40周年記念出版の三冊目として、岩城浩幸・TBS外信部長ご夫妻の初めての著書『大陸逍遙』は、日本僑報社より刊行され、好評発売中。

blog「段躍中日報」創刊のご案内

1998年から定期的に発信してきた日本僑報電子週刊は5月から形を変えた。新しい発信道具であるブログを活用し、日々の取材した情報をまず「段躍中日報」<http://duan.exblog.jp/>に掲載して、水曜日にまとめて読者に送る。

この「日報」は、毎日報道の意味と同時に、日本報道、日中関係情報の報道、在日中国人、日本の華僑華人に関する報道を日々発信していくことである。皆様から寄せられた情報も私の編集で掲載できればと思う。

それから、いままでのメールマガジンは日本語あるいは日本語フォントで書かれた情報しか掲載できなかったが、これからの「段躍中日報」は、日中両国語による発信も簡単に掲載できるようになった。ぜひご利用の上、お気軽に情報を寄せてください。なお、ブログ「段躍中日報」に掲載された写真は、すべて段躍中が撮影したものであることを明言し、転載希望の方やほかの使用希望の方は、ご連絡ください。無断転載は固くお断りします。

これからは、ブログ「段躍中日報」とメールマガジン「日本僑報電子週刊」を駆使して、日中相互理解を深めるため、日々邁進して参る所存である。

段躍中@2005年4月20日午前9時半
【写真は5月6日のトップ画面、卓球の愛ちゃん
が上海から生出演したときの様子を取り上げた。】

